



こどもクリニックニュース

NO. 128 平成22年8月1日発行
ともながこどもクリニック

熱中症に注意!!!

梅雨明けとともに「猛暑日や熱帯夜」が続き、熱中症のために高齢者がなくなっているとの報道を連日耳にします。幸いにも、小さなお子様が亡くなったという報道は少ないですが、乳幼児は体温の調節が未熟で、高温・多湿・運動などによって、簡単に体温が上昇します。

炎天下に駐車している車の中にお子様を一人で置いて行かないで下さい。また「ベビーカー」は歩道表面に近く、想像以上に高温となるようです。日中の赤ちゃんの移動は「抱っこ」のほうが安全のようです。

体温を調節するしくみ・・・汗のはたらき

運動すると筋肉が熱を発生します。激しい運動でなくても、普通に歩いたり家の中を動き回るだけでも筋肉から熱が発生しています。余分な熱を身体の外に逃がして体温を一定に保つ仕組みの一つが「汗」です。皮膚に出てきた汗が蒸発するときに、身体の熱も一緒に空気の中に逃がしています。ですから汗で体温を下げるには「汗をかくこと」と「汗を蒸発させること」が必要です。

水分（と適度の塩分）を常に補給しておかないと、必要な時に汗が出なくなってしまう。また湿度が高く、風のない空間では汗が蒸発できません。熱中症の対策として、水分や塩分の補給と風通しを強調されるのは、しっくりとした理由があるのです。

暑い日の激しい運動や不要な外出は控え、水分と塩分の補給、エアコンや扇風機を適度を使って体力の消耗や熱中症を防ぎましょう。

院長の予定 (2010年9月まで)

8月	11日	(水)	2才健診	保健センター
9月	13日	(月)	3才健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。なお水曜日は一日休診ですので診療には影響ありません。

9月までの休診予定

8月18日(水)～25日(水) (夏季休診)

9月11日(土) (職員旅行)

水曜日は一日休診ですが、一部の祝日の午前中に診療しています。10月までの祝日診療予定は下記のとおりです。

9月 20日 (月) 敬老の日

23日 (木) 秋分の日

10月 11日 (月) 体育の日

診療時間は9:00～12:00です。

11月以降について・・・

例年11月から3月までは、加須市内の小児科医による「冬季小児科休日診療」が行われています。おそらく今年も実施されるものと思われ、その日程との兼ね合いで、当院の祝日診療を決定します。

「ともながこどもクリニック・診療カレンダー」

半年分の診療の予定一覧をカレンダーにして受付窓口および玄関下駄箱の上に置いてあります。自由にお持ち帰りください。

ただいま7月から12月までのカレンダーを提供しています。

感染症の情報

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）の患者さんは、かなり少なくなりました。まだ一部の幼稚園児で見つかりますが、新学期までには治まりそうです。

手足口病とヘルパンギーナが流行しています。これらは保育園に通うような乳幼児の間で流行していますので、これからしばらくは流行が続きそうです。今後とも注意が必要です。

一時流行していた伝染性紅斑（リンゴ病）は少なくなりました。また胃腸炎もかなり少ない状況です。

インフルエンザワクチンの最新情報

少し早いですが、今シーズンのインフルエンザワクチンについて、新しい情報が入りましたのでお知らせします。

今シーズンのインフルエンザワクチンには3種類の成分が含まれます。3種類とは、「A 香港型、B 型そして新型インフルエンザの成分」です。昨年までの季節性インフルエンザワクチンには「A 香港、A ソ連、B 型」の3種類が入っており、さらに「新型」を別個に接種しなければなりません。今年は「新型」が「A ソ連型」に入れ替わり、1種類のワクチンで済むこととなります。接種方法は従来通り、12才までの方は2回接種、13才以上の方は1回接種となります。

Aソ連型が流行したらどうするの？という疑問を持たれる方もいらっしゃるかもしれません。私も詳しくないのですが、過去のインフルエンザの大流行のパターンによれば、今回の新型インフルエンザの出現により、Aソ連型は自然に消滅していくらしいです。

昨年は新型インフルエンザが流行し、空港での水際作戦や、学級閉鎖・学校閉鎖など、大きな社会問題となりました。ワクチン不足も深刻でした。幸運だったのは、新型インフルエンザの症状や死亡率が、当初の想定よりも軽かったことです。検査キットや治療薬も何とか間に合いましたので、一時的な混乱・混雑で終ることができました。

そうは言っても、次の冬もインフルエンザの流行は来るでしょう。昨シーズンは新型インフルエンザの流行だけで、A香港型やB型インフルエンザは流行しませんでした。今年はこれらの再流行も心配です。ワクチン接種で予防することをおすすめします。

インフルエンザワクチン接種の予約受付、接種開始の日程は、決まり次第お知らせします。

当院での各種ワクチンの予約・実施状況

当院ではすべての予防接種を完全予約制で実施しています。最近、接種できるワクチンの種類が増え、それに伴い接種する人数も増えてきたため、予約が混雑してきました。

一番大きな要因は、日本脳炎ワクチンの再開です。

ワクチンの製造方法の変更に伴い、実質的に5年間の中断がありました。今年度より3歳児への勧奨接種が再開されましたが、いずれそれ以上の年齢のお子様へと拡大していくはずですが、そうであれば、日本脳炎ワクチン接種数がさらに急増します。

また乳幼児への接種が望まれる、新しいワクチンが発売されました。ヒブ（Hib）ワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンです。費用の問題や周知度の低さのために、まだ接種する人数は少ないですが、今後増えていくことは間違いないでしょう。それから、女性の子宮頸がんを予防するワクチンも話題になっており、今後の課題です。

本来、予防接種は健康な方に接種するものですから、一般診療の方とは待合室を別にするのが常識です。当院はスペースの都合上、火曜・金曜の昼に「予防接種専用の時間帯」を設定していますが、最近その時間帯の予約が早く埋まってしまい、2～3週間先までお待ちいただく状況が続いています。

一般の診療時間にも実施していますので、お急ぎの方への接種は何とか対応できていますが、今後さらに接種人数が増えれば対応できなくなる懸念があります。

接種する時間帯の拡大については検討中ですが、皆様にも「複数ワクチンの同時接種」をご検討いただきたいと思います。

こどもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付けでお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150